

科目	運動学Ⅱ (PT)	担当	古川 公宣	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

授業目標: 生体の構造学的知識を基盤として, 運動と力学の関連性を学ぶ.

運動学の基本原理, 関節の構造と機能, 骨格筋の構造と機能を学ぶ.

生体の関節構造と運動特性に関わる筋の役割について学ぶ.

到達目標: ヒトの運動が重力下で行われるために必要とされる筋の働き, 筋以外の支持組織の働きなどを総合的に考え, 目で見た運動を専門用語を用いた言語的表現に置き換えることができる.

**【履修注意】**

この科目は, 後期の運動学実習, 3年生前期の臨床運動学へとつながる基礎科目であるため, 各講義内容を確実に把握するように務めること.

**【評価方法】**

期末試験, 出席状況, 受講態度などを総合的に判断.

**【試験について】**

筆記試験(出席日数が規定に満たない場合は受験不可)

再試験対象者の条件: 60点未満を再試験対象とする.

**【予習・復習】**

解剖学, 生理学の知識が必須となるため, 講義前にはシラバスを確認して必要事項を予習すること. また, 疑問点を解決するために, 復習も最大限行うこと.

**【教科書】**

書籍名: 原著第2版 カラー版 筋骨格系のキネシオロジー 著者: Donald A. Neumann 出版社: 医歯薬出版(株)

**【参考書】**

特に定めない.

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	体軸骨格3	筋と関節の相互作用(頸椎と胸椎)
2	体軸骨格4	筋と関節の相互作用(腰椎と骨盤)
3	股関節1	構成する骨, 関節構造
4	股関節2	関節構造, 筋と関節の相互作用
5	股関節3	筋と関節の相互作用
6	膝関節1	構成する骨, 関節構造
7	膝関節2	関節構造, 筋と関節の相互作用
8	膝関節3	筋と関節の相互作用
9	足関節と足部1	構成する骨, 関節構造
10	足関節と足部2	筋と関節の相互作用
11	歩行の運動学1	歩行分析, 指標, 関節運動学
12	歩行の運動学2	関節運動学
13	歩行の運動学3	筋活動, 歩行障害
14	顔面の運動学	概要, 顔面の筋とその作用
15	運動学習	概要, 記憶, 運動学習, フィードバック, パフォーマンス
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ